

SKI Instructor of JAPAN



INSTRUCTOR 第28号

日本スキー指導者協会会報

2012年10月 1日発行

巻頭言



会長 坂本 祐之輔

今年の夏は第30回夏季オリンピック・ロンドン大会が12日間の熱戦を繰り広げ開催されました。1912年ストックホルム大会の参加から100周年となった日本は、293選手を含む518人を派遣しました。金メダル数は目標とした世界5位、15個に遠い7個でしたが銀14、銅17を合わせたメダル38個は2004年のアテネ大会の37個を上回り史上最多となりました。このメダル量産が国内での「五輪熱」を高め2020年夏季五輪招致活動で東京の弱点となっている国内支持率を押し上げ招致を大きく前進させていただきたいと期待します。

私も出席した日本選手団の結団式において、日本オリンピック委員会の竹田恆和会長は「最高のパフォーマンスを発揮し、招致の気運が高まることを期待しています。」と激励の言葉を結んでいました。2020オリンピック・パラリンピック招致には、5都市（IOC決定順）イスタンブール・トルコ・東京・バクー（アゼルバイジャン）・ドーハ（カタール）・マドリード（スペイン）が立候補しています。前回立候補時点では、国民の支持率が55.4%（都民）でしたが、開催前時点では65.2%（都民）・65.7%（国民）となっています。しかしオリンピック・パラリンピックを誘致するには開催都市や国民の80%台の支持率が必要

とされています。

今後とも都道府県体育協会や各競技団体をはじめ、あらゆる関係機関と連携しながら支持率をアップし、日本社会の活性化そして国民の生きがいや夢・希望ともなる大会誘致に向けて努力を重ねていかねばなりません。

特に現在、スポーツを取り巻く環境は1990年代から言われている失われた10年・変わらぬ20年というデフレと円高によって日本経済は大きく疲弊し、このことの影響が日本のスポーツ界にも大きな影響を及ぼしています。

スキースポーツも例外ではなく、（財）全日本スキー連盟も改革を行いながら、来るべくソチオリンピックでのメダル奪回と更なるスキーの普及振興に全力で取り組んでいます。

今夏開催されたスポーツの祭典による大きな感動の渦を失速させることなく、さらに大きなものとすることによって招致が東京に決定されれば、必ず今後の日本のスキー界をはじめとする我が国のスポーツの発展に大きな影響を与えることでしょう。

2013年9月のブエノスアイレスで開催されるIOC総会で立候補都市のプレゼンテーションが行われ開催都市が決定します。国民の大きな夢を是非、実現させましょう！

S . A . J . 情報 2012/2013 教育本部行事一覧表 (2012.5.25現在)

(スキー関係)											
No	行事・会議・事業 名称	都道府県	会場	会 期							
1	スキー学校代表者会議		未 定	未 定							
2	第1回イグザミナー研修会	長野県	熊の湯スキー場	2012年11月21日	(水)	～	2012年11月23日 (金)				
3	第1回ナショナルデモンストレーター合宿	長野県	熊の湯スキー場	2012年11月21日	(水)	～	2012年11月23日 (金)				
4	スキー中央研修会	長野県	熊の湯スキー場	2012年11月23日	(金)	～	2012年11月25日 (日)				
5	第1回SAJデモンストレーター合宿	長野県	熊の湯スキー場	2012年11月23日	(金)	～	2012年11月25日 (日)				
6	スキー技術員研修会(北海道)	北海道	札幌国際スキー場	2012年11月30日	(金)	～	2012年12月2日 (日)				
	スキー技術員研修会(東北)	青森県	ナカ白神スキー場	2012年12月7日	(金)	～	2012年12月9日 (日)				
	スキー技術員研修会(北関東)	群馬県	鹿沢スノーエリア	2012年11月30日	(金)	～	2012年12月2日 (日)				
	スキー技術員研修会(南関東)	長野県	熊の湯スキー場	2012年11月30日	(金)	～	2012年12月2日 (日)				
	スキー技術員研修会(甲信越)	長野県	焼額山スキー場	2012年12月3日	(月)	～	2012年12月5日 (水)				
	スキー技術員研修会(東海・北陸)	岐阜県	ウイングヒルズ白鳥リゾート	2012年11月30日	(金)	～	2012年12月2日 (日)				
	スキー技術員研修会(西日本)	兵庫県	奥神鍋スキー場	2012年12月7日	(金)	～	2012年12月9日 (日)				
	スキー学校主任教師研修会(第1会場)	北海道	キロロスノーワールド	2012年12月7日	(金)	～	2012年12月9日 (日)				
7	スキー学校主任教師研修会(第2会場)	青森県	ナカ白神スキー場	2012年12月7日	(金)	～	2012年12月9日 (日)				
	スキー学校主任教師研修会(第3会場)	群馬県	鹿沢スノーエリア	2012年11月30日	(金)	～	2012年12月2日 (日)				
	スキー学校主任教師研修会(第4会場)	長野県	焼額山スキー場	2012年12月3日	(月)	～	2012年12月5日 (水)				
	スキー学校主任教師研修会(第5会場)	岐阜県	ほおのき平スキー場	2012年12月20日	(木)	～	2012年12月22日 (土)				
	スキー学校主任教師研修会(第6会場)	島根県	瑞穂ハイランド	2012年12月15日	(土)	～	2012年12月17日 (月)				
	スキー大学(第1会場)	北海道	朝里川温泉スキー場	2012年12月21日	(金)	～	2012年12月24日 (月)				
	スキー大学(第2会場)	長野県	白馬五竜スキー場	2013年1月18日	(金)	～	2013年1月21日 (月)				
	9	スキー指導員検定会(第1会場)	北海道	朝里川温泉スキー場	2013年2月22日	(金)	～	2013年2月24日 (日)			
スキー指導員検定会(第2会場)		宮城県	みやぎ蔵王えぼしスキー場								
スキー指導員検定会(第3会場)		群馬県	ホワイトワールド尾瀬岩鞍								
スキー指導員検定会(第4会場)		岐阜県	ほおのき平スキー場								
スキー指導員検定会(第5会場)		鳥取県	だいせんホワイトリゾート								
10	スキーA級検定員検定会(第1会場)	北海道	朝里川温泉スキー場	2013年2月23日	(土)	～	2013年2月24日 (日)				
	スキーA級検定員検定会(第2会場)	宮城県	みやぎ蔵王えぼしスキー場								
	スキーA級検定員検定会(第3会場)	群馬県	ホワイトワールド尾瀬岩鞍								
	スキーA級検定員検定会(第4会場)	岐阜県	ほおのき平スキー場								
	スキーA級検定員検定会(第5会場)	鳥取県	だいせんホワイトリゾート								
11	第49回全日本スキー技術選手権大会	長野県	白馬八方尾根スキー場	2013年3月5日	(火)	～	2013年3月10日 (日)				
12	教育本部会議	長野県	熊の湯スキー場	2013年3月29日	(金)	～	2013年3月31日 (日)				
13	第2回イグザミナー研修会	長野県	熊の湯スキー場	2013年3月29日	(金)	～	2013年3月31日 (日)				
14	第2回ナショナルデモンストレーター合宿	長野県	熊の湯スキー場	2013年3月29日	(金)	～	2013年3月31日 (日)				
15	第2回SAJデモンストレーター合宿	長野県	熊の湯スキー場	2013年3月29日	(金)	～	2013年3月31日 (日)				
16	IVSIコンgres	フランス	アルプ・デュエス	2013年4月6日	(土)		2013年4月13日 (土)				
17	バックカントリー講習会	富山県	立山(室堂)	2013年4月19日	(金)		2013年4月21日 (日)				
18	加盟団体教育本部長連絡会議	東京都	未 定	6月頃							
(安全対策関係)											
No	行事・会議・事業 名称	都道府県	会場	会 期							
1	全国安全対策委員長会議	東京都	岸記念体育館(予定)	2012年11月10日	(土)						
2	パトロール中央研修会	長野県	高天ヶ原スキー場	2012年11月23日	(金)	～	2012年11月25日 (日)				
3	スキーパトロール検定会(第1会場)	北海道	ルスツリゾート	2013年3月29日	(金)	～	2013年3月31日 (日)				
4	スキーパトロール検定会(第2会場)	群馬県	草津国際泉スキー場	2013年1月25日	(金)	～	2013年1月27日 (日)				
	スキーパトロール研修会(第1会場)	北海道	美唄国際スキー場								
	スキーパトロール研修会(第2会場)	福島県	南郷スキー場								
	スキーパトロール研修会(第3会場)	群馬県	スノバーク尾瀬戸倉								
	スキーパトロール研修会(第4会場)	石川県	金沢セイモアスキー場								
6	第28回スキーパトロール技術競技大会	群馬県	スノバーク尾瀬戸倉	2013年3月23日	(土)	～	2012年3月24日 (日)				
(スノーボード関係)											
No	行事・会議・事業 名称	都道府県	会場	会 期							
1	第1回スノーボードデモンストレーター合宿	長野県	アサマ2000パーク	2012年11月26日	(月)	～	2012年11月27日 (火)				
2	スノーボード中央研修会	長野県	アサマ2000パーク	2012年11月27日	(火)	～	2012年11月29日 (木)				
3	スノーボード指導員検定会(第1会場)	北海道	朝里川温泉スキー場	2013年2月22日	(金)	～	2013年2月24日 (日)				
4	スノーボード指導員検定会(第2会場)	岐阜県	ほおのき平スキー場	2013年3月14日	(木)	～	2013年3月17日 (日)				
	第10回全日本スノーボード技術選手権大会	福島県	猪苗代スキー場								
5	第1回スノーボードデモンストレーター合宿	長野県	横手山スキー場					2013年3月29日	(金)	～	2013年3月31日 (日)
(クロスカントリースキー関係)											
No	行事・会議・事業 名称	都道府県	会場					会 期			
1	クロスカントリー指導者・検定員検定会及び研修会(第1会場)	北海道	大滝総合運動公園					2013年3月23日	(土)	～	2013年3月24日 (日)
	クロスカントリー指導者・検定員検定会及び研修会(第2会場)	長野県	野沢温泉スキー場								

第13回SIJ カップフェスティバル(白馬)実施報告書

日程 平成24年4月7(土)～8日(日)

日程	実施内容	参加者
4/7(土) 雪後曇 粉雪	・20:00～21:30 選手会及び懇親会 スキースクール3 階	21
4/8(日) 快晴 粉雪 湿雪	SIJ カップ大会大回転競技 白馬八方尾根パノラマコース ・9:30～9:50 インспекション ・10:00～10:20 競技会 ・12:00～12:30 表彰式 八方尾根スキースクール	大会22

大会参加費3,000 円、懇親会500 円

本部宿舎 対岳館 〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村八方 TEL 0261-72-2075

県別参加者 北海道1、栃木県1、埼玉県4、東京都18、神奈川県6 総勢30

概要

第13回は10～12 回が中止のあと、4 年ぶりにスキーのメッカ長野県白馬村八方尾根でのフェスティバルで、地元観光協会、長野県スキー連盟、白馬八方尾根スキースクールの歓迎を受けた。

今年度の雪上の会場はパノラマゲレンデでの開催となった。

7 日は雪後曇だったがこの時期には考えられない素晴らしい粉雪。

20時よりスキースクール3 階にて選手会及び懇親会が行われ、各都道府県参加者の交流を楽しんだ。

8 日の大回転競技大会は快晴、粉雪。パノラマゲレンデ400mに閉門15のやさしいコースがセットされ素晴らしいコンディションの中で、22名が足前を競った。

終了後八方尾根スキースクールにて表彰式を行い、各組3 位までに賞状が授与され、全員に副賞が渡された。

日程

4/7(土) 20:00～21:30 開会式及び選手会、懇親会
スキースクール3 階

・開会式及び選手会

司会 水島 秀夫 日指理事長
会長挨拶 坂本祐之輔 日指会長
来賓挨拶 菅 秀文 日指名誉会長
丸山 庄司 財)全日本スキー連盟教育本部顧問
太谷 陽一 八方尾根スキースクール校長
協賛社紹介 和田 守義 日指理事
競技上の諸注意 丸山 達也 技術代表
選手宣誓 星 伸也 栃木県
閉会の辞 山崎 一正 日指副会長

・懇親会

司会 藤木 昇 日指事務局長
挨拶並びに乾杯 藤島 勝雄 日指理事
閉会の辞 藤木 昇 日指事務局長

4/8(日) 競技会(白馬八方尾根パノラマゲレンデコース)
大回転競技1 本 距離 約400m 閉門数15

9:30～9:50 インспекション

10:00～10:20 競技会 前走者 丸山 庄司 日指特別顧問

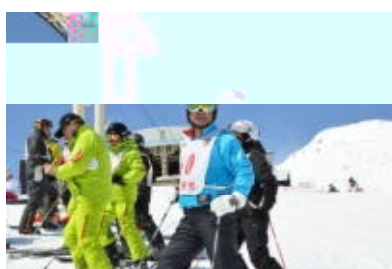
12:00～12:30 表彰式

・表彰式 八方尾根スキースクール

開会の辞 新井 臣一 日指理事
会長挨拶 山崎 一正 日指副会長
来賓挨拶 丸山 庄司 財)全日本スキー連盟
教育本部顧問
技術代表講評 丸山 達也 競技委員長
成績発表 藤木 昇 日指事務局長
表彰 山崎 一正 日指副会長
閉会の辞 藤島 勝雄 日指理事

成績

組別	順位	ピブ	氏名	県連	クラブ	所要時間
指導員の部 男子	12 組	DS	1 菅 秀文	東京都	ヴェスタ	DS
	10 組	1	3 山崎 一正	東京都	八王子	39.15
		2	2 志岐 昭敏	東京都	山小屋	46.69
	9 組	1	4 倉持 賢二郎	神奈川県	横浜社-同好会	40.13
指導員の部 女子	5 組	1	5 阿久津 光代	神奈川県	大和社-同好会	36.14
	2 組	1	6 中上 佳子	東京都	リーゼン	34.60
一般の部 女子	2 組	1	8 藤崎 祐美子	東京都	リーゼン	37.22
		2	7 白井 由里子	東京都	リーゼン	38.60
指導員の部 男子	8 組	1	11 藤木 昇	神奈川県	横浜社-同好会	36.37
		2	10 井駒 利一	神奈川県	日立戸塚社-部	44.52
		DQ	9 水島 秀夫	神奈川県	レインボース-クラブ	DQ
	7 組	1	12 佐藤 義隆	東京都	エイトマン	38.43
	6 組	1	13 新井 臣一	埼玉県	東松山市社-連盟	38.61
	4 組	1	14 島村 展広	埼玉県	東松山市社-連盟	33.83
		1	15 関根 紀光	埼玉県	東松山市社-連盟	30.75
	3 組	2	16 小池 一樹	東京都	リーゼン	34.47
		3	17 小山 司	東京都	リーゼン	35.24
		4	18 矢島 寅雄	東京都	リーゼン	40.19
	2 組	1	19 森下 耕至	東京都	リーゼン	30.48
一般の部 男子	5 組	1	21 星 伸也	栃木県	那須塩原スノーボード湯けむり	32.60
	3 組	1	22 久保 勝利	東京都	リーゼン	38.89
	2 組	1	23 藤澤 豊	東京都	リーゼン	34.89



S.I.J.トピックス

創立30周年記念を迎えて

理事長 水島 秀夫

日本スキー指導者協会は、1983年10月30日創立総会を日本学生会館で行い、2012年に創立30年を迎えます。年表を参照されるとお分かりのようにそこからは、先人たちの努力の結晶が読み取れます。2002年（平成14年）11月20日には創立20周年記念式典・祝賀会が東京において、各界のご来賓をお招きして盛大に開催されました。それから10年、今年は30回目の節目の年になりました。準備不足もありましてシーズン最後を飾る4月S I Jカップキロロ大会を創立30周年記念の冠大会とさせて頂き2013年夏～秋にかけて創立30周年記念式典と祝賀会をささやかではありますが、開催してはと思案中です。まずは、今年度計画された行事を成功裡に遂行するとともに、年会費が納めや

すくなったことのPRを通じて、会員の増強と本会への関心を高めていただくことが、創立30周年記念式典につながることを考えております。

2011年（平成23年）には、日本にスキーが伝来してから100年目を迎え、新潟県や長野県スキー連盟は一昨年、昨年とスキー伝来に因んだ記念行事を開催し大いにスキーへの機運を盛り上げました。しかしながら現実には、スキー人口は下降状態にあるのが現実です。日本スキー指導者協会創立30周年を契機にどうやって上昇機運に持ちあげてゆくことができるかを模索し、みんなで協力し合って行こうではありませんか。

創立	周年	西暦	和 暦	会長	月/日	出来事	会報発行
		1982	S 57		7/9	仮称日本スキー指導員協議会、発起人準備委員会開催	
		1982	S 57		8/28-29	仮称日本スキー指導員協会設立発起人会、東京・田仲旅館で開催参加者32名	
		1983	S 58		6/11	日本スキー指導員会設立準備委員会、東京・田仲旅館で開催	
1	創立	1983	S 58		10/30	日本スキー指導員会設立準備委員会及び創立総会を東京・日本学生会館で開催	
2		1	一周年		5/20	日本スキー指導員会、ブロック代表者会議開催	
		1984	S 59		7/14	常任理事会開催	
		1984	S 59		8/26	昭和60年度日本スキー指導員会総会、東京都岸記念体育館で開催	
		1984	S 59	柴田信一	11/25	(財)全日本スキー連盟秋季評議員会にて設立の届出を正式に承認	第1号創刊
4		3	三周年	柴田信一			第2号
5		4		松浦益司郎		社会体育指導者資格付与精度	第3号
6		5	五周年	松浦益司郎			第4号
7		6		菅秀文		指導員制度50周年	第5号50th合併号
10	創立10年	9		菅秀文			第8号
11		10	十周年	菅秀文			第9号
13		12		菅秀文	1/	柴田先生逝去	第11号
		1995	H 7	会長代行 金井英一郎		菅会長辞任	
		1996	H 8			規約検討委員会発足承認・役員選任承認	
15		14		田 英夫			第13号
16		15		田 英夫		名称「日本スキー指導者協会」承認	第14号
19		18		田 英夫		名誉会長松浦先生逝去	第17号
20	創立20年	19		田 英夫	11/20	記念式典：スクール麹町 創立20年記念誌	第18号
21		20	二十周年	田 英夫			第19号
27		26		田 英夫	11/13	田会長逝去	第25号
28		27		坂本祐之輔	3/25	田英夫偲ぶ会：憲政会館	第26号
29		28		坂本祐之輔			第27号
30	創立30年	29		坂本祐之輔		創立30年記念：SIJカップキロロ大会	第28号
31		30	三十周年	坂本祐之輔		記念式典(予定)	

【北海道】北海道スキー指導者協会

北海道スキー指導者協会 副会長 藤島 勝雄

北海道スキー指導者協会活動報告

私ども北海道スキー指導者協会は、全国に先駆けて指導員仲間の資質の向上と親睦を掲げ、昭和27年10月「北海道一般スキー指導員会」として設立された。その後「北海道基礎スキー指導員会」「北海道スキー指導員会」「北海道スキー指導者連盟」そして現在の「北海道スキー指導者協会」と名称を変えながらも、綿々とその精神を受け継ぎ活動してきた。

本年は創立60周年に当たり、去る7月7日「創立60周年記念第25回北海道スキー指導者協会の集い」を北海道のスキー発祥の地とも言える小樽で開催した。当日は、遠路お越しいただいた日本スキー指導者協会名誉会長菅秀文様はじめ、(財)北海道スキー連盟会長伊藤義郎様代理として副会長小林俊勝様等のご出席を頂いて華やかに開催された。その記念の「北海道スキー指導者協会の集い」の様態を報告します。

- 1、主催者を代表して本協会坂井和夫会長が挨拶
- 2、日本スキー指導者協会名誉会長菅秀文様のお祝辞(抜粋)

今日は、60周年おめでとうございます。60周年というと1952年ですか、大変なものです。ようするに温故知新と言いますか、貴重な60年の歴史を刻んでこられた事に敬意を表します。日本スキー指導者協会は、北海道から18年後の1970年に創立されました。これも北海道出身の柴田信一先生の薫陶によるものであります。柴田先生の一つの理念として、指導者の情報交換や親睦さらに指導員資質の向上、そういったものを上げるために是非やるんだということでした。

今、皆さん方が発行しているシュプール、これは全国の指導者が非常に啓蒙されている訳です。このシュプールの中に色々な提案があります。技術或いはスキー技法に対しての啓蒙があり、これを栄々と60年間も続けてこられた。これはもう大変なものであります。今後とも北海道スキー指導者協会が、それらを通じて日本スキーの指導者を啓蒙して頂けるよう益々の充実と発展を祈念して、お祝いの言葉といたします。

- 3、(財)北海道スキー連盟副会長小林俊勝様のお祝辞
- 4、地元小樽スキー指導員会会長輪島祥司様の歓迎のご挨拶
- 5、表彰式

本協会の役員を10年以上務めた会員で、現役含めてご存命の、次の21名の方々を表彰した。

(五十音順・敬称略)

阿部一行(名寄) 阿部恵一(北見地方) 飯田誠一(小樽)
小栗宏(稚内) 加藤 英二(旭川) 菊池真一郎(札幌)
坂井敏夫(札幌) 櫻井文雄(札幌) 佐藤秀志(稚内)
杉山重之(北見市) 鈴木清二(函館) 鈴木忠芳(室蘭)
大黒善太郎(旭川) 竹内恒夫(札幌) 戸塚浩司(小樽)
西田 孝(釧路) 福地 白(札幌) 藤島勝雄(苫小牧)
古川英雄(自衛隊) 毛利修三(小樽) 安田政明(旭川)

6、講演
「映像で見るもうひとつのスキー発祥の地(抜粋)」
(財)全日本スキー連盟イグザミネーター・小樽
商科大学教授 中川 喜直 氏

今から100年前の明治45年の2月、旭川にレルヒ中佐が赴任しました。が、その少し前に小樽から新潟県の高田のレルヒのもとにスキーを習いに行った人がいたのです。小樽高商、今の小樽商大の苫米地講師です。高田までスキーを習いに行きました。レルヒが旭川に来る前の話なのです。そして旭川とほぼ同日、小樽でも講習会が始まりました。苫米地講師はその時、高田で買ってきた3台のスキーを使って、小樽商大の地獄坂でスキーの講習会を開いたのです。そこから小樽のスキーが始まるわけです。

旭川と小樽とのスキー術の違いはどうだったのかと言いますと、旭川は軍用スキー術を伝える役割があって、目的が軍用に関するものだった。小樽のレルヒのスキー術は、民間ヘスキーを普及し教育にスキーを普及するというのが一番の目的であって、旭川と小樽とのスキーの発展では、目的が違っていました。旭川は軍用スキー術が続き、行進など軍隊に用いるスキー術を伝えていく練習内容であり、あまり民間への広がりというのはなかった。それに対し、小樽の方は民間に普及して行った事が知られております。

- 7、記念集合写真

- 8、交流懇親会

- ・ (財)北海道スキー連盟教育本部長吉田英一様の祝杯
- ・ テーブルスピーチ
- ・ アトラクション「おたる潮太鼓」
- ・ 次年度開催地・釧路スキー指導員会会長西田孝様歓迎の挨拶

- 9、創立60周年記念ゴルフ大会(7月8日)



【岩手県】岩手県スキー指導員会

事務局 石川 明

「いわて」スキー指導員会から

いわては、昨年の大震災から1年を過ぎ、震災後2回目の冬シーズン到来を迎えます。被災地のスキー協会では、シーズン到来をどのような思いで待ち望んでいるかということを考えると胸が痛みます。

長い歴史をもった被災地のスキー協会が、いままでのように活動できるよう、仲間達を思いやりながら、今年度も共に歩んでまいりたいと存じます。昨年度中止した親睦ゴルフコンペは、今年度は何とか実施し広く交流を深めることに努めました。(写真)

今回の「会報第28号」では、次のとおり2012年度事業の決算の概要をご紹介します。

1 収入2,454,000円	会費@3000×746人＝納入率77%(登録者数960人)及び繰越金
2 支出2,332,000円	
(以下内訳)1,492,000円	県連メモ購入(会の運営費は実質1人千円(@2000×819冊)
330,000円	技選出場補助(選手団に一括交付)
262,000円	県会報印刷費(会員に配布)
70,000円	指導員養成事業(アニバーサリー、検定会県連共催事業)・
25,000円	親睦事業費(SAJ研修会酒類提供、恒例のゴルフコンペ)
112,000円	会議費(総会、会長出張旅費等)
10,000円	慶弔費(2人の会員死亡慶弔金)
10,000円	予備費(大震災見舞金(1協会)
21,000円	その他の経費(通信費、事務費等)・
3 繰越 122,000円	前年度比 43.5%

今後も会費納入率の向上は期待できないことから、事業費の支出抑制と事業の見直し
が課題となる



親睦ゴルフコンペ

【宮城県】宮城県スキー指導員会

事務局 萩野 元彦

本指導員会は、宮城県スキー連盟と連携しながら指導員の育成と資質の向上並びに親睦の輪を図っております。今年度は、総会終了後、SAJナショナルデモンストレータの渡部秀文氏による「スキースポーツについて」の講演会を実施いたしました。また、3年ぶりに海外スキー研修(ヨーロッパ方面)を実施する予定です。さらに、近県のスキー指導員会との交流にも努めております。

下記に平成25年度事業計画をお知らせ致します。

No	年 月 日	事 業 名	場 所	備 考
1	H24.8.18(土)	総 会	ホテル白萩	第1回役員会実施
2	H24.8.18(土)	講 演 会	ホテル白萩	SAJナショナルデモンストレータ 渡部秀文氏
3	H24.8.18(土)	交 流 会	ホテル白萩	
4	H25.2.中旬	海外スキー研修	実施予定	ヨーロッパ方面
5	H25.3.3(日)	スキー・ホート準指 合格者入会受付	スキー：セントメリー予定 ホート：セントメリー予定	
6	H25.5.()	日 指 幹 事 会	東 京	会長参加予定
7	H25.6.()	第2回 役員会	野村コミュニティセンター	
8	H25.7.()	県連ゴルフ大会協賛	未 定	仙北地区担当
9	H25.7.()	日 指 総 会	東 京	会長参加予定

各種支援・協賛

- 1 東北ブロック研修会(ブロック技術員等)参加者への支援
- 2 仙北・仙塩・仙南ブロックへの講習会支援
- 3 正指導員受検者への支援
- 4 日指ゴルフ大会支援・・・平成24年10月13・14日 場所：那須ツナカントリー
- 5 東北マスターズ大会支援(本県開催時)
- 6 近県指導員会との交流支援
- 7 東北ブロック正指導員検定会支援・・・平成25年2月22・23・24日(金・土・日)
会場：宮城蔵王えぼしスキー場



【栃木県】栃木県スキー指導員会

栃木県指導員会 石塚 光男

教育本部事業の紹介

栃木県スキー連盟には約1050名の指導員資格者がいますが、栃木県連には指導員会組織はありません。

県連は、総務、競技、教育の3本部体制で運営しております。ここでは、教育本部の事業を紹介したいと思います。

教育本部は、担当する理事と部員(SAJブロック技術員と栃木県連スキー技術員)で事業運営をしています。

指導員研修会は理論1会場、実技2会場で開催しておりますが、2年に一度の研修会への出席を考えたとき、現状ではもう少し参加者があってもいいのではないかと思います。

シーズン3回のスキー技術選手権大会を開催しています。1月に50回を迎える全日本北関東技選に派遣する選手を選出する大会、2月に11回目になるマスターズ技術選、シーズン終盤に行われる5回目のスプリング技術選は来年度の北関東技選へ派遣選手の一部と来年の強化合宿参加の資格者を選ぶ大会であります。3つの技選とも盛況で120～160名くらいの参加があります。

指導員、準指導員、公認パトロール受検者の養

成事業、技術選に向けての選手強化、合宿、一般スキー対象のアルペントレーニングと名付けた講習会、小中学生対象の育成講習会等の養成事業、準指導員検定、BC級検定員検定、シーズン5回開催のプライズテスト等の検定事業先シーズンはスキー関係で44事業、スノーボード関係で7事業を行いながら、北関東、全日本の研修会、大会に参加する大変忙しいことであります。

2013年度の事業は鋭意検討中ですが盛りだくさんの事業となるとと思います。



ハンターマウンテン塩原コブ斜面

【埼玉県】埼玉県スキー指導員会

埼玉県指導員会会長 福田 真人

新しい役員体制でスタート

去る、6月10日の臨時評議員会において、役員改選が承認され、新役員でのスタートとなりました。

近年、スキー人口の減少が続きピーク時の3分の1ともいわれています。また、準指受検者、資格保持者も減少して来ています。このような状況下であるからこそ、我々指導者が団結協力し、スキーの楽しさを一人でも多くの人に伝えるべく、より積極的に活動して行くべき時であると思います。

指導員会では、多様化するスキーヤーの志向に対応するべく行事を企画し、一人でも多くの指導者に参加して頂き、スキーを通して仲間の輪を広げ、仲間と共に

多くの感動を分かち合っていく...そんな豊かなスキーライフに貢献して行きたいと考えております。

今年度も、懇親スポーツ大会、懇親ゴルフコンペ等の行事を計画し、楽しいスキーシーズンになるよう役員一同協力して事業に邁進してまいります。各行事の実施に当たりましては、県連教育本部の関係各方面の皆様には、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新役員を紹介致します。

会長 福田真人
副会長 関根紀光
監事 横山貴俊 二ノ宮良郎
幹事長 山原弥
会計幹事 船戸均 常任幹事
常任幹事 朝比奈知春 出井昭悟 新井時男
幹事 斎藤純一 東辰雄 上原康志 松川大介 種市孝仁 茂木真理子
相談役 小笠原健一 近藤英雄

永年に渡り会長、副会長として指導員会を盛り立てて来た、小笠原、近藤両先生が勇退されました。両先生には、相談役としてお知恵を拝借させていただきたくよろしくお願い申し上げます。

【千葉県】千葉県スキー指導員会

広報担当 川島みちを

千葉県スキー指導員会は、今年度創立40周年を迎えます

総会後に式典を開くことになり、記念講演を日本スキー指導者協会特別顧問の丸山庄司先生をお願いしました。

・平成24年度行事報告

1. 会報誌わかしお43号の発行	H.23年10月13日
2. 第39回総会	H.23年11月13日フローラ西船にて開催。 総会終了後、鶴岡康一氏(千葉県スキー連盟所属)の講演、 タイトルは、「人生はいつだって向かい風なのさ」 講演終了後懇親会。
3. 第7回ステップアップ講習会	H.24年1月28日～29日 会場 長野県小海リエックス・スキーバレー 講師 元SAJデモ本間尚先生他
4. 準指導員検定会役員派遣	H.24年2月19日会津高原高畑スキー場。
5. 指導員バンクより派遣、	上越国際スキー学校、会津高杖スキー学校、ヨマセ海和スキー学校 猪苗代スキー学校に指導員を派遣。
6. 第3回尾瀬トレッキング	H.24年7月28～29日
7. 第11回親睦ゴルフ大会	H.24年8月23日成田フェアフィールドGCにて開催。

・平成25年度40周年記念行事予定

1. 会報誌40周年記念「わかしお」44号発行	H.24年9月15日予定
2. 第40回総会	H.24年11月13日西船フローラ
3. 40周年記念講演	H.24年11月13日西船フローラにて、総会後に開催 講師にSAJ元丸山庄司氏
4. 40周年記念懇親会及び新入会員歓迎会予定。	
5. SIC創立40周年記念第8回ステップアップ講習会	H.25年1月26日～27日小海リエックス・スキーバレーにて、 講師元SAJデモ本間尚先生他を予定。
6. 準指導員検定会役員派遣	H.24年度準指導員検定会に役員を2名派遣予定。
7. 指導員バンクより派遣	上越国際スキー学校、会津高杖スキー学校、ヨマセ海和スキー学校、 猪苗代スキー学校に派遣予定
8. SIC創立40周年記念第4回尾瀬トレッキング	H.25年7月22～23日
9. SIC創立40周年記念第12回親睦ゴルフ大会	H.25年8月22日千葉県内ゴルフ場予定

【東京都】特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会

理事長 和田 守義

特定非営利活動法人への移行

東京都スキー指導員会は、昭和42年の設立以来、長年任意団体として活動してまいりましたが、平成24年5月に「特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会」へと移行いたしました。

近年、スキーヤーの減少や価値観の多様化、志向性の変化、更には地球温暖化などスキー界を取り巻く環境の悪化が目立つ中、当特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会の存在意義も一段と高まって

いるとの認識のもと活動基盤の一層の安定強化を図るとともに活発な事業展開を目指すこととなりました。平成25年度の事業計画もほぼ決まり、雪の便りを待つばかりとなりました。

今年度も、各事業の実施にあたりましては、関係方面の皆様の絶大なるご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度行事要項

	事業名	実施時期	実施場所	備考
1	懇親ゴルフ大会	H24.9.28(金)	都ゴルフ倶楽部	ストックをクラブに持ち替えて技を競う親睦の会
2	平成25年度 秋の体力づくりの会	H24.10.27～10.28	白馬五竜スキー場	今シーズンも事故なく有意義なシーズンになりますように、野山を巡り基礎体力向上を図る(協力:白馬村観光局)
3	スキー理論講座	H24.11.14(水)	なかのZERO	SAT教育本部専門員による理論講座
4	指導者研修会時の 親睦会	H24.12.7(金)	北海道朝里川スキー場 小樽「青塚食堂」	SAT指導者研修会朝里会場において 広く指導員同士の懇親を図る夕食会
5	北海道初滑りスキー研修会	H24.12.7～12.9	北海道キロロリゾート	今シーズンの初滑りを雪質抜群の北海道 キロロスノーリゾートで!
6	指導員検定合格のための 特別研究会	H25.1.26～1.27	尾瀬岩鞍スキー場	指導員検定合格に向けたトレーニング
7	テクニカル・クラウン合格 のための特別研究会	H25.1.26～1.27	尾瀬岩鞍スキー場	主にテクニカル、クラウンを目指す方を対象により 高い目標へチャレンジするトレーニング
8	プライズ・テスト	H25.2.2～2.3 予定	菅平高原スキー場	テクニカルとクラウンのプライズテストを行う
9	準指導員検定合格のための 特別研究会	H25.2.9～2.11	菅平高原スキー場	SAT教育本部専門員による準指合格の ための単位別トレーニング
10	特定非営利活動法人東京都 スキー指導者協会 SITカップ 第32回フェスティバル	H25.2.23～2.24	菅平高原スキー場	大回転(2本内速い方のタイム)と回転(2本 内速い方のタイム)の合計で競う
11	特定非営利活動法人東京都 スキー指導者協会 テクニクキャンプ	H25.3.2～3.3 予定	白馬五竜スキー場	講師にリッチーベルガーを迎えエレガントな スキーテクニックを学ぶ
12	準指導員検定会支援	H25.3.9～10	菅平高原スキー場	準指検定に受検する方々に温かい飲物等 を準備してリラックスして受検できるよ うサポート
13	特定非営利活動法人東京都 スキー指導者協会 海外スキー研修会	H25.4.2～4.10	スイスツェルマット	一度はツェルマット、マッターホルンの 麓を存分に滑りイタリア・チェルビニアに遠征
14	指導員、準指導員検定 合格者歓迎会	H25.4 予定	薬業健保会館	新しく指導員、準指導員に合格した方々 と慶びを共ににする

特定非営利活動法人東京都スキー指導者協会ホームページ <http://www.ski-instructors-tokyo.jp/>

【神奈川県】 神奈川県スキー指導員会

幹事長 大雁丸 正人

今年も会員の方々をはじめ、ご家族ご友人にスキー（スノースポーツ）を楽しんでいただき、その魅力を感じていただける場を提供していきたいと計画致しました。スキー（スノースポーツ）はあまり身近なところには無く、時間とお金がある程度必要なスポーツ（レジャー）です。そして、初めての方や、お子さん、自家用車をお持ちでない方には、面倒をみてもらえる方や、誘ってくれるお仲間が必要でしょう。そういった条件がそろって初めて雪に触れ、雪と遊び、ドキドキしながら滑り、スリルを味わい、喜び、悔しがり、スキー（スノースポーツ）の魅力を感じることができるのです。当指導員会はそういったスキー（スノースポーツ）に行くお手伝い、滑るお手伝い、そしてスキー（スノースポーツ）の魅力

を感じていただくお手伝いをし、またお手伝いできる方との結びつきのお手伝いを今年も行っており、今年も10の行事を計画しましたが、いずれも役員のボランティアでの執行ですので、安価にご紹介できています。また、バスでの雪上行事を5行事計画し自家用車が無くても参加できます。（他の行事も、乗合を調整させていたでています）日程的には週末行事と平日行事、そして週末・平日ミックス行事をご用意しています。いずれも当指導員会の役員が引率していますので、初めての方でも安心です。どうぞ、ご家族、ご友人とお誘い合わせいただき、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

スキー場でみなさんの笑顔にお会いできることを
こころ待ちにしております。

神奈川県スキー指導員会

2012-2013行事要項

行事	行事名	期 日
1.	第85回親睦ゴルフコンペ（秋季大会）	H24.10/25
2.	奥志賀高原スキルアップセミナー	H24.12/8-9
3.	エンジョイスキー in 小海（ ）	H25.1/14-16
4.	片品スキーと花咲温泉 / オグナほか プレジャンボリー	H25.1/27-29
5.	第32回オール神奈川スキーヤーズ大会	H25.2/9-10
6.	ハンターマウンテン塩原と温泉の旅（ ）	H25.2/17-19
7.	エンジョイスキー in 小海（ 2 ）	H25.2/28-3/2
8.	エーデルワイス & ハンタマ & 塩原温泉の旅	H25.3/9-11
9.	第29回指導員会フェスティバル （公財）神奈川県スキー連盟教育本部車山行事 / 共催	H25.3/23-24
10.	第86回親睦ゴルフコンペ（春季大会）	H25.5/23
SV1	ジュニアスキー教室（スノーヴァ新横浜）	毎月第4土曜日

SV1：スノーヴァ新横浜ジュニア育成行事

詳細は神奈川県対人指導員会のホームページ URL <http://sik.arts-k.com> をご覧ください。

「神奈川県スキー指導員会」で検索していただいても表示されます。

神奈川県スキー指導員会スキーフェスティバルに参加して

神奈川県スキー指導員会名誉会長

神奈川県茅ヶ崎スキ一協会 会長

榎本 勝雄

ス4. ののか拓ジちら、ン、でよ
エ2たと名時藤てたか私ア後事変
フ成れ会数3佐に供分らイの行大
一平さ修十1とデ子0かわそたり
キ、催研らは班ンした3言ハ。ねが
して開員か）習しし時宣のた兼上
会いに導会土練ゲ加7会員しをり
員お）指協（ル、参1開役ま会盛
導に日一一日一れり。の、り納で
指場（キキ4ボわあ。ルやがはケ
ー一日スス2、行がた。バ鼓上会オ
キキ5と崎月後がスシイ太り協ラ。
スス2盟ヶ3の会ビマテ谷盛一カす。日た態会クれれま会
川原）連茅。そ講習りス岡変キでま当し状大くわり閉
川高土一、た、講サおエ、大スルい会まいなルて行が
奈山（キれしり別のでフリでのテで大れようづし以上式に会
神車日又わまあ特酒ん、まだ崎ホっ日さ。よし加式に会
回が4県行りがの甘喜会始なヶ。思5配みの験参会台開
8ル2川であ式モヤも手で？茅でと2心止こ体ず閉彰の台開
2八月奈ボが会デス手選杯スなのた月がも。を必と表会が大
第13神ヲ加開前一選、乾ンさたつ3催雪た一も表が大
テ年。コ参ら也ユヤのはダ小しか。開はし千年発員

技にま入来績全
競頃しいは成手
て始たちち後選
出開い楽たの
も技了来供そ崎
風勢終出子。ヶ
り分事終たす。茅
降0無参しました
が3もでルいいし
奈川
雪時技子一思場。神
朝9競親ゴと出たに
のがでがでる。し式
のがでがでる。し式
日た態会クれれま会
スス2盟ヶ3の会ビマテ谷盛一カす。日た態会クれれま会
川原）連茅。そ講習りス岡変キでま当し状大くわり閉
川高土一、た、講サおエ、大スルい会まいなルて行が
奈山（キれしり別のでフリでのテで大れようづし以上式に会
神車日又わまあ特酒ん、まだ崎ホっ日さ。よし加式に会
回が4県行りがの甘喜会始なヶ。思5配みの験参会台開
8ル2川であ式モヤも手で？茅でと2心止こ体ず閉彰の台開
2八月奈ボが会デス手選杯スなのた月がも。を必と表会が大
第13神ヲ加開前一選、乾ンさたつ3催雪た一も表が大
テ年。コ参ら也ユヤのはダ小しか。開はし千年発員

席議員災きらスう
出導導震でかいよ
が指指は催長しし
名、の年開会楽また
数に盟昨と副てげし
十前連、っ片し上ま
他年一けや、力りじ
3キが年盟協盛感
事がスき今連がしを
理私県働、一会やい
務は川うがキ員増が
専会奈うたス導をり
田大神つし県指口や
上今と行ま川と人も
ルでい奈連一私
長たバボま神県キ
会しイラし。もスリ
副まテコてすらいあ
片れスとしてか行も
くエ会止第れを撈
員てフ修中次こ一挨
役し会研でたはキの



(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会 平成24年度 第2回 理事会 議事録

日時 平成24年5月26日(土) 11:00～14:00

場所 スクワール麹町

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6 電話03-3234-8739

出席者 (名簿順敬称略)

会長 坂本 祐之輔

副会長 坂井和夫 半沢 進 渡辺 忍 山崎一正

理事 藤島勝雄 吉田勇夫 阿部隆郎 石塚光男 新井臣一

水島秀夫 藤木 昇

特別理事 増田千春

委任 鈴木勘重 古賀澄夫 小笠原健一 佐藤昭藏 和田守義

顧問弁護士 菅原哲朗

事務局 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫 関根紀光

井駒利一

進行 水島理事長

開会に先立ち故綱川千夫先生に黙祷をささげた。

(栃木県スキー連盟会長・S I J 副会長平成23年11月18日没)

1. 開会の辞 山崎副会長

2. 会長挨拶 坂本祐之輔

顧問弁護士、特別理事、出席理事にたいして第2回理事会が開催できたことへの謝辞。

故綱川千夫先生とは会議・スキー場でもお会いしており、心より哀悼の辞を述べたい。

今年度の全行事が皆さまのご努力により順調に行われたこと、ご協力・ご参加いただいた皆さまへのお礼を申し上げる。

スポーツの世界では、ロンドンオリンピックにマスメディアも熱い視線を送って行くと思う。オリンピックの開催によりあらゆる競技力の向上が図れると思う。東京オリンピックの招致には、国民の支持率を高めなければならない。S I Jも国民世論を盛り上げるための応援をしていただければと願っている。

S A Jでは、定款が変更され懸案になっていた事項も収まった。ただ、本年は、S A J総会の日程がS I Jの総会と重なってしまったため出席できなくなり申し訳ない。

3. 議長 坂本祐之輔

4. 書記選出 事務局

5. 議事録署名人 吉田勇夫 藤島勝雄

6. 議事運営確認 水島理事長

藤島理事：理事会の出席者に名誉役員が入っていないことについて確認。

水島理事長：会場と経費の関係から名誉会長、特別顧問、顧問、参与、会友には理事会への出席要請はしていない、総会への出席をお願いした。

7. 平成24年度概況報告 水島理事長

資料により報告説明：少子化の進行が総務省の発表により改めて浮き彫りになった。S I Jの役割を改めて全員で考えていく事がとても大切な時期に差し掛かった。本会の基礎となる会員の増強については進展しなかった。事業面では、各事業とも盛会裡に開催でき協賛及び参加いただいた各位にお礼。

1) 一般報告(事業別概況)

資料により報告説明：藤木事務局長

2) S A J報告

資料により報告説明：増田特別理事

(1) スキー指導者の資格再登録について

資格再登録については、データベース整備として進めているもので、研修会制度をはじめ資格制度や指導者の立ち位置に関して検討を進めている。

(2) 平成25年度(2012/2013シーズン)教育本部事業カレンダー案

受検者減少のため指導員検定の日程について会場別に検討中。

(3) 検定会、事業申込者数&合格者数

3) 会議、事業、本部会計収支報告

資料により報告説明：藤木事務局長

渡辺副会長：平成24年度 収支決算報告 過去未収分の金額について、脱退届出3県については計上する必要は無いのではないかと。

水島理事長：未収県については更に検討する、脱退3県については除く方向で。

藤島理事：議論を先延ばしにしている。この件については時間を十分かける必要がある。

渡辺副会長：過去の未収を請求したらどこも再加入しないだろう。

藤木事務局長：会費については、本年度のみの請求としている。

坂本会長：本年度は、未収について計上しない方向で確認。

(昼食・休憩)

菅原顧問弁護士は所用のため退席されるので、ここでご挨拶をいただいた。

菅原顧問弁護士

スポーツ基本法が平成23年8月24日に施行され、スポーツのもつ権利性が謳われた。そこで色々なことが生じてきていることを幾つか挙げて話された。

・スポーツ事故に関すること。

・スポーツ顧客をいかに創造し育成するかについて。

・スポーツがもつ力について。

・アンチドーピングについて。

8 審議事項

1) 事業計画案及び収支予算案：藤木事務局長

スキー大学の日程：H25 / 1月上旬をH24/12/21～24に変更

S I Jカップを未払い県で開催するのはどうか、との思いもある。

坂本会長：財政的に厳しいときには、広報誌の費用見直しなどが一般的に行われる。また、S I Jカップの開催地。これらについてご意見をいただきたい。

水島理事長：北海道での開催は可能か。

藤島理事：北海道としては、4月でも雪の心配は無い、いつでも受入できる。

水島理事長：北海道の場合、会場としては何処。

藤島理事：ルスツが良いのでは。レースの設備や観光にも適している。

水島理事長：大会費用が些少だが受けるところはあるのか。

藤島理事：大会費用についても、早くに具体的なものをだしていただければ検討できる。

半沢副会長：東北は辞退したい。

以上、一括審議の結果、平成24年度事業報告及び収支決算報告、平成25年度事業計画と収支予算について原案通り承認された。

2) 総会について：水島理事長

第1回理事会、総会、懇親会の日程と時間について説明

日程 平成24年7月21日(土) 場所 スクワール麹町

理事会 10:30～11:30

総会 11:40～12:30

懇親会 12:40～14:30

坂本会長、菅原顧問弁護士は欠席になるが、会場予約の関係もあり上記にて開催を決定。

3) その他：特になし

9. 提案事項

特に提案なし、ここで一旦案件は終了とした。

引き続き、意見交換を時間の許す範囲で行った。

藤島理事：決算、予算の明細と総括など様式が分かりにくい、改善を望む。

藤島理事：北海道は全日本ということで加入している、西日本が脱退すると、東日本のみになってしまい全日本でなくなる。
坂本会長：決算、予算の書式は変更することで、先に了承を得ている。

藤島理事：未収県に対する働きかけは？

水島理事長：西日本には三年程前まで、働きかけをしていたが脱退は既に決まったことだからと言われていた。

渡辺副会長：ご参考の年会費収受状況から年数、金額を削除し受領県のみ「済」を表示して、脱退県は下方にまとめてはどうか。

坂本会長：未収分は予算より減額する。

渡辺副会長：総会には新しい様式で提案願いたい。

藤木事務局長：請求の文案は？請求先に指導員会の実態がない。どのようにしたらよいか。

坂本会長：文案は、督促よりお誘いのような内容が好ましい事務局で成案願いたい。

増田特別理事：西日本ブロック研修に出席した時、指導員会の会長が挨拶していたので、指導員会の存在を感じた。実態を調べてみては？接触している相手が違うこともあるのでは。

坂本会長：アンケートをとってはどうか。

水島理事長：以前にアンケートをとったことがあるので再度参考にしてみる。

増田特別理事：S A J が新法人化にともない環境が変わってきている、S I J も少し（2年程）様子を見ながら進めてはどうか。

坂本会長：日指の全国状況は分かる範囲で調べ、報告していただきたい。

以上で意見交換を終えた。

10. 書記解任

11. 議長解任

12. 閉会の辞 半沢副会長

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成24年 6月 6日

議長 坂本 祐之輔 印

議事録署名人 吉田 勇 印

議事録署名人 藤島 勝雄 印

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会 平成25年度 第1回 理事会 議事録

日時 平成25年7月21日（土）10:00～11:00

場所 スクワール麹町

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6 電話03-3234-8739

出席者（名簿順敬称略）

会長 坂本 祐之輔

副会長 坂井 和夫 半沢 進 渡辺 忍 山崎一正

特別理事 増田千春

理事 藤島勝雄 吉田勇夫 鈴木勘重 阿部隆郎 石塚光男

福田 真人

新井臣一 和田守義 水島秀夫

委任 古賀澄夫 佐藤昭蔵

監事 榎本建司 巻坂伸治

名誉会長 菅 秀文

顧問 林 権一 大澤佑吉

参与 長澤光雄 浦辻 直

傍聴：三浦光雄 庄司高士 芳賀 寛 榎本勝雄

事務局 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫 関根紀光 滝沢

誠 井駒利一

進行 水島理事長

1. 開会の辞 山崎副会長

2. 会長挨拶 坂本祐之輔

役員の方々、菅名誉会長はじめ名誉役員の皆さまには、ご多用のところお越し頂き誠にありがとうございます。謝辞と慎重審議と円滑な議事運営へお願い。

3. 議長 坂本祐之輔

4. 書記選出 事務局

5. 議事録署名人 石塚光男 藤島勝雄

6. 議事運営確認 水島理事長

7. 平成24年度概況報告 水島理事長

資料により報告説明：加えて福岡顧問から欠席連絡の折、戦前・戦中派が今、頑張らなければならない、スキー界も同じと熱く語られた。私も同感した。

1) 一般報告（事業別概況）

資料により報告説明：藤木事務局長

2) S A J 報告

資料により報告説明：増田特別理事

(1) 会員登録加入状況

(2) 平成25年度（2012/2013シーズン）教育本部事業カレンダー案

今分かっている変動可能性のある行事として指導員検定は例年通り5会場であるが、受検者数によっては会場を絞ることもある。技術選とジャンプの日程が重なっているので、一週ずれることがあり得る。

(3) スキー指導者の資格再登録について

S A J 会員登録をしていない資格停止者の解除申請について把握を各県連に委ねていた関係から当初は受付ていたが、資格停止の解除には、S A J 会員登録が前提となるので、会員登録をしていない人は、まず会員登録をして翌年解除申請をしていただくことで現在是对応している。ご理解をお願いしたい。

菅名誉会長

功労指導員や名誉指導員等も含まれるか？

増田特別理事

含まれる。

3) 会議、事業、本部会計収支報告

資料により報告説明：藤木事務局長

特に質疑なし。

4) 監査報告 榎本建司監事

特に指摘事項なし。

以上の報告事項について一括審議の結果、原案通り承認された菅名誉会長より3点のご意見をいただいた。

第2回理事会の議事録で名誉役員に出席要請をしなかった理由に、会場・経費都合を挙げているが、名誉役員の理事会出席については、規約第29条3項で「会長は、必要に応じ名誉役員に出席を要請し意見を求めることができる」としているので規約とおり進めれば良い。

S I J カップの開催地については、北海道を隔年で行ってはどうか。また、キロロを進めているようだが北海道とよく相談して欲しい。

西日本指導員会について、増田特別理事によると指導員会が存在しているようなので、新たな接触相手についてその実態を調べてみてはどうか。

8. 審議事項

1) 平成25年度 会議、事業計画案：資料により説明

藤木事務局長

2) 平成25年度 本会計予算案：資料により説明

藤木事務局長

3) 平成25年度 会議、事業予算案：資料により説明

藤木事務局長

4) その他

(1) 会報インストラクター28号発刊について

水島事務次長

発行日は10月1日（月）、原稿締切は9月10日、28号は各県だよりやインフォメーションを中心に誌面をスリムにして経費を抑えたい。

(質疑)

鈴木理事

東北内部に報告するため。平成25年5月下旬の、第2回理事会の開催時期を早められないか。

水島理事長

5月19日（日）に繰り上げ、会場を手配する。

半沢副会長

会場を東京以外に移動しても良いのではないか。

藤島理事

親睦を深める意味でも北海道ではどうか。

大澤顧問

事業計画と会場については、発想に柔軟性をもって運営してもらいたい。

林顧問

理事会の会場を移すのは良い。

水島理事長

理事会の開催会場については、事務局で検討する。

藤島理事

ＳＩＪカップの開催地としてルスツを推したが、事業計画案ではキロ口になっている。幹事長がキロ口には、ルートがないとのことなので、私が紹介できると話しておいたが、相談がなかった。北海道としては対応に苦慮している。

水島理事長

この件については、拡大事務局会議を開催して案を企画したが、北海道に協力をいただかないとこの事業は成り立たないので相談させていただきたい。

坂本議長より、縷々意見が出ているので、事務局と大会の開催地である北海道と調整して進めて貰いたいとの意向を示し、坂井副会長から、その方向で進めるとのご理解を得た。

なお、総会には、原案のキロ口で提案することです承。

以上、一括審議の結果、原案通り承認された。

9. その他

1) 30周年記念事業について : 水島理事長
年表を示し、開催に対して討議した。

林顧問

準備期間を考えると今年度の開催は難しい、30周年記念事業を行うのは良いが一年延びても良いのではないかな。

藤島理事

北海道、指導者制度60周年の内容をヒントとして紹介

渡辺副会長

記念誌の発行、式典になるが、式典は雪上の実施も考えられないかな。

坂本議長

いままでのご意見を参考に、30周年記念事業については事務局にて企画・立案する。

議長より、全般を通してご意見ご提案を確認

藤島理事

以下の指摘があった。

配布された役員名簿について、氏名誤字、電話番号誤記、選出推薦母体の表記に整合性がない。

総会資料に添付の事務局日誌は不要、この分を利用して役員名簿を載せられないかな。

ホームページの更新が遅れている

本日の理事会に代表委員の傍聴があったが、冒頭に紹介がなかった。

坂本議長

藤島理事のご意見、ご提案については、事務局にて対応をとること。

10. 書記解任

11. 議長解任

12. 閉会の辞 渡辺副会長

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成24年 8月21日

議長 坂本祐之輔 印

議事録署名人 石塚 光男 印

議事録署名人 藤島 勝雄 印

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成25年度 総会 議事録

日時 平成24年7月21日(土) 12:15~12:45

場所 スクワール麹町

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6 電話03-3234-8739

出席者 (名簿順敬称略)

代表委員 三浦光男 庄司高士 芳賀 寛 榎本勝雄

委任 金井 久 小林 賢 宮津 久男

会長 坂本 祐之輔

副会長 坂井 和夫 半沢 進 渡辺 忍 山崎一正

特別理事 増田千春

理事 藤島勝雄 吉田勇夫 鈴木勘重 阿部隆郎 石塚光男

福田 真人 新井臣一 和田守義 水島秀夫

委任 古賀澄夫 佐藤昭藏

監事 榎本建司 巻坂伸治

名誉会長 菅 秀文

顧問 林 権一 大澤佑吉

参与 長澤光雄 浦辻 直

事務局 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫 関根紀光 滝沢 誠
井駒利一

進行 水島理事長

1. 開会の辞 水島理事長

2. 会長挨拶 後述

3. 議長 坂本祐之輔

4. 書記選出 事務局

5. 議事録署名人 三浦光男 庄司高士

6. 議事運営確認 水島理事長

7. 平成24年度概況報告 水島理事長

資料により報告説明

1) 一般報告(事業別概況)

資料により報告説明: 藤木事務局長

2) S A J 報告 増田特別理事

顧客創造について、SAJ・スキー場・地域等が一体となってこの4年間取り組んできた。重力や遠心力をうまく活用し、健康に良い、体をこわさない、高いパフォーマンスを生むことを教程の基盤

にしてきた。このようなハイブリッドスキーイングと従来型のスキーとの比較データや、疲れない、自律神経と副交感神経のバランス

が良いといった医学的な考察を加え再構築して一歩進めた指導法として提案をしていく動きがある。今までスキーをしたことのない新

らたな顧客を対象に、体にいい、股関節を痛めない、高いパフォーマンスが得られるなど、指導法も進化し変わり目にもきている。馴染

めない先生方からも多くのご意見をいただいていること、ターンの入口・出口論、ロッカー系スキーの登場等々に触れながらS A J

の最近の動向について報告。

3) 会議、事業、本部会計収支報告

資料により報告説明: 藤木事務局長

特に質疑なし。

4) 監査報告 榎本建司監事

特に指摘事項なし。

以上の報告事項について一括審議の結果原案通り承認された。

8 審議事項

1) 平成25年度会議事業計画案: 資料により説明 藤木事務局長

2) 平成25年度本会計予算案: 資料により説明 藤木事務局長

3) 平成25年度会議事業予算案: 資料により説明 藤木事務局長

以上、一括審議の結果、原案通り承認された。

9. その他

渡辺副会長

今回、代表委員が7名と少ないのは、規約では、各都道府県から選出されることになっているのに選出されない府県があるため、規約上の問題ではない、将来的には各県から代表委員が選出され増えることが望ましい。

藤島理事

ＳＩＪカップに参加の北海道の選手は、当初からレース中心であり、ツアーを兼ねて参加している方々とは主旨がことなっているの

で懇親会への参加も少ない。

総会のまとめを兼ねて、坂本会長よりご挨拶をいただいた。

10. 書記解任

11. 議長解任

12. 閉会の辞 渡辺副会長

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成24年 8月21日

議長 坂本祐之輔 印

議事録署名人 三浦 光男 印

議事録署名人 庄司 高士 印

平成25年度（財）日本スキー連盟日本スキー指導者協会 総 会

会 長 挨拶

平成25年度（財）全日本スキー連盟日本スキー指導者協会総会に、ご多用の中多くの皆様にご出席をいただき総会を開催することができ、誠にありがとうございます。また日頃からスキースポーツの普及振興にあたたいご理解とご活躍をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

現在日本を取り巻く環境は、円高ユーロ安という厳しい経済情勢が進展していますが、このような状況にあっても「日本をスポーツで元気に！」という日本体育協会のキャッチフレーズをもとに活動することは大変意義あることと思います。

日本指導者協会のこれからの方向性については、今後の組織体制の充実を図っていかねばなりません。理事会や総会の役割をしっかりと進めるには、事務局が各ブロックや都道府県の指導委員会のおかれている状況を把握し、今後の協会のあるべき姿を模索する必要があります。

そのためにも、シーズン終了後には役員の皆様からの忌憚のないご意見を伺い、改めるべきはしっかりと改めることが肝要と考えています。新たなシーズンを迎え、皆様の変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



2012年7月21日
会長 坂本 祐之輔

日本スキー指導者協会

懇親会 写真



平成 24 年度 事業別概況報告

	開催年月日	事業内容	会場
1	H 23年7月9日 参加総数39名	H 24年度第1回理事事会、総会、懇親会 役員事務局 25名 他14 名	スクワール麹町
2	開催なし	(拡大) 事務局会議	
3	H 23年10月1日	会報第27号 発行	16,000部発行
4	H 23年10月8日 ～ 9日 参加総数81名	第18回SIJ親睦ｺﾝﾌﾞ大会 岩手県1、宮城県7、福島県18、 栃木県3 、埼玉県13、千葉県7、東京都13、 神奈川県19	那須チサンカントリー クラブ
5	H 24年1月5日 ～ 9日 参加総数19名	第11回みんなで行こうS A Jスキー大学 青森1、秋田1、茨城1、埼玉1、千葉1、東京5 神奈川5、静岡1、愛知1、長野1、香川1	朝里川温泉スキー場 朝里クラッセホテル
6	H 24年4月7日 ～ 8日 参加総数30名	第13回S I Jフェスティバル in 白馬 北海道1、栃木1、埼玉4、東京18、神奈川6	白馬八方尾根スキー場 本部宿舎：対岳館 懇親会：スキースクール
7	H 24年5月26日 参加総数18名	H24年度第2回理事会 役員、事務局18名	スクワール麹町

平成 24 年度 決算報告書

1. 収入の部

(予算比減) 単位：円

科 目	予算額	決算額	予算比増減	項 目
繰越金	93,337	93,337	0	前年度より
年会費	783,000	723,000	60,000	
会議費	362,500	222,000	140,500	
事業費	892,750	707,500	185,250	
用品販売費	0	0	0	ワッペン、シール
雑収入	50	37	13	銀行利息
合 計	2,131,637	1,745,874	385,763	

2. 支出の部

科 目	予算額	決算内訳	予算比増減	項 目
会議費	510,000	294,099	215,901	
事業費	1,342,750	1,115,044	227,706	
用品加工費	0	0	0	ワッペン、シール
通信費	50,000	33,790	16,210	切手、葉書、印紙購入、電報料、振込料
事務費	50,000	5,768	44,232	資料、議事録、封筒作製
事務所借用料	20,000	20,000	0	事務所借用料
渉外費	50,000	43,568	6,432	慶弔費(弔電、生花)
ホームページ費	60,000	60,000	0	ホームページ維持費
雑支出	10,000	0	10,000	
支出合計	2,092,750	1,572,269	520,481	
繰越金	38,887	173,605	134,718	
合 計	2,131,637	1,745,874	385,763	

平成 25 年度 事業 計画

	開催年月日	事業内容	備考
1	H 24 年 7 月 21 日 (土)	H25 年度 第 1 回 理事会、総会、懇親会	スクワール麹町
2	随時開催	(拡大) 事務局会議	別途随時決定
3	H 24 年 10 月上旬	会報 28 号 発行 16,000 部	送料会員負担
4	H 24 年 10 月 13 日 (土) ～ 14 (日) 募集 80 名	第 19 回 SIJ 親睦ゴルフ大会 (秋季) 参加費 3,000 円、ゴルフレ-他 10,000 円	那須チサン CC 13 日前夜祭 14 日 大会
5	H 24 年 12 月 20 日 (木) ～ 24 日 (月) 募集 20 名	第 12 回 みんなで行こう S A J スキー大学	朝里川温泉スキー場 朝里クラッセホテル
6	H 24 年 4 月 12 日 (土) ～ 14 日 (日) 募集 130 名	第 14 回 SIJ カップフェスティバル in キロロ 大会参加費 3,000 円	キロロワールド

平成 25 年度 本 会 計 予 算

1 . 収入の部

科 目	予算額	前年予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	173,605	93,337	80,268	
年 会 費	723,000	4,454,500	3,731,500	
会 議 費	312,500	362,500	50,000	
事 業 費	1,335,250	892,750	442,500	
	655,250	655,250	0	親睦ゴルフ大会
	20,000	20,000	0	SAJ スキー大学企画料
		100,000	100,000	2011 インタースキー総会ツアー企画料
	660,000	217,500	442,500	SIJ カップフェスティバル in 白馬
雑 収 入	40	50	10	銀行利息他
合 計	2,544,395	5,803,137	3,258,742	

2 . 支出の部

科 目	予算額	前年予算額	増 減	摘 要
会 議 費	460,000	510,000	50,000	
事 業 費	1,790,250	1,342,750	447,500	
	650,000	535,250	114,750	親睦ゴルフ大会
	535,250	600,000	64,750	会報 28 号
	0	0	0	SAJ スキー大学企画料
	605,000	207,500	397,500	SIJ カップフェスティバル in キロロ
通 信 費	50,000	50,000	0	切手、葉書
事 務 費	30,000	50,000	20,000	印刷、コピー
事務所借用料	20,000	20,000	0	
渉 外 費	50,000	50,000	0	渉外、慶弔
ホームページ費	60,000	60,000	0	
雑 支 出	10,000	10,000	0	
支 出 合 計	2470,250	2,092,750	377,500	
予 備 費	74,145	38,887	35,258	
合 計	2,544,395	2,131,637	412,758	
収支差額	0	0	0	

第11回みんなで行こうスキー大学実施報告書

日 程 A日程 平成24年1月5日(木)～ 9日(月)5日間
 B日程 平成24年1月5日(木)～ 8日(日)4日間 旅行取扱(株)シティフェイス

会 場 北海道朝里川温泉スキー場
 (〒047-0154北海道小樽市朝里川温泉1-394TEL0134-54-0101)

宿 舎 朝里クラッセホテル
 (〒047-0154北海道小樽市朝里川温泉2丁目676TEL0134-52-3800)

費 用 羽田5日朝/夜発 5日間A朝59,400円/A夕58,900円 航空運賃、宿泊代(4泊4朝食)
 羽田5日朝/夜発 4日間B朝48,300円/B夕47,800円 航空運賃、宿泊代(3泊3朝食)
 新千歳 朝里クラッセホテルは往復各自負担

参加者 19名(A日程13名、B日程6名)

日 程

1/05(木) 朝羽田 9:00発 ANA55新千歳空港着/電車/路線バス 朝里クラッセホテル13:05着
 雪 夕羽田18:00/20:05発 ANA77/79新千歳空港着/電車/バスorタクシ
 朝里クラッセホテル22:00/23:50着

1/06(金) 8:00～8:30スキー大学受付
 雪 9:00開会式
 9:30～15:00 講師によるデモ(検定種目A単位のニュートラル・ポジションとフェイスコントロール)の後
 ナショナル/S.A.J.デモによる班別実技講習
 15:30～17:30 講師の技術選の経験談を中心とした理論講習

1/07(土) 9:30～15:00 午前/午後ナショナル/S.A.J.デモによる班別実技講習
 曇後雪 15:30～17:00 市野S.A.J.専門委員によるハイブリッドスキーイングの理論講習
 18:00～19:30 講師と受講生全員による交流会

1/08(日) 9:30～11:30 ナショナル/S.A.J.デモによる班別実技講習
 曇時々雪 11:30～12:30 講師によるデモ兼クリニック(検定種目中心の模範演技)
 12:30～12:45 B日程(3日コース)閉会式
 14:20～ B日程朝里クラッセホテル発、ANA76 21:10 羽田空港着
 以後はA日程(4日コース)
 14:00～16:30 ナショナル/S.A.J.デモによる班別実技講習/理論講習

1/09(月) 9:30～11:30 ナショナル/S.A.J.デモによる班別実技講習
 晴 11:40～11:50 A日程全員約230人による連続スキートレーンデモンストレーション
 11:50～12:05 A日程(4日コース)閉会式
 14:20～18:00 朝里クラッセホテル発 新千歳空港着
 19:30 新千歳空港発 ANA76 21:10 羽田空港着

概 況

1. 今回のツアー参加は昨年より4名多い19名で、青森、秋田、茨城、埼玉、千葉各1名、東京5名、神奈川5名、静岡、愛知、長野、香川1名の11都県と広範囲な構成となった。
2. 午前開会式のため前日泊となり、A日程の帰りは成人の日の連休最終日。新千歳空港は大混雑。
3. 今年のスキー大学第一会場全参加者は去年と同等の377名であった。
4. 第一会場のスキー大学は和気あいあいとした雰囲気でも半分以上リピーターの参加者である。
5. 自然で楽なスキー教程も3年目。ハイブリットスキーイングの名で洗練されて来たようだ。連続谷回りや、フェイスコントロールでの荷重をかけた横滑りなど、デモの実技は非常に説得力のあるものに仕上がりに、参加者には分かり易かったようだ。
6. 毎日講師が変わり、異なった教え方に接して新鮮な気持ちで講習に望め、人気のあるデモに教えてもらえる確率が高くなると好評だった。
7. ツアー料金は去年並みで、11都県の参加者にも対応した。
8. 今年も相部屋で1人での参加者を安くし、飛行機と宿のみ確保する募集形態は、一番確実に参加できるツアー企画として良いものと思われる。
9. 震災の影響か、ゲレンデの混み具合は去年より少なく、冬休み中の北海道の子供連のクラブの他は修学旅行もなく空いていた。

第18回S.I.J親睦ゴルフ大会実施報告書

1. 前夜祭 那須チサンカントリークラブ 栃木県那須郡那須町寺子乙677-28 0287-62-0840
(敬称略)平成23年10月8日(土)18時より夕食兼懇親会 レストラン 司会 理事 吉田 勇夫

1. 開会のことば 副会長 半沢 進
2. 会長挨拶 会長 坂本祐之輔
3. 地元挨拶 栃木県連 石塚光男様
4. 競技説明 理事長 水島秀夫
5. 協賛及び役員紹介 事務局長 藤木 昇
6. 乾杯 顧問 片岡春夫
7. 懇親カラオケ司会 神奈川県 阿久津光代
各テーブル、地方より喉自慢を披露
8. 中締め 理事 佐藤昭蔵 20 時15 分

2. ゴルフ大会 那須チサンカントリークラブ 栃木県那須郡那須町寺子乙677-28 0287-62-0840

開会式 平成23 年10 月9 日(日)7:20 (敬称略) 司会 理事長 水島 秀夫

会長挨拶 会長 坂本 祐之輔

当日参加県挨拶 福島県指導員会 会長 阿部 隆郎

スタート7:32 アウト10 組/イン11 組で同時スタート

表彰式並びにパーティー (敬称略) 司会 理事長 水島 秀夫 15:15~16:15

1. 開会のことば 副会長 半沢 進
2. 会長挨拶 会長 坂本 祐之輔
3. 地元挨拶 栃木県連 石塚 光男様
那須チサンカントリークラブ 支配人 村田 悟様
4. ホールインワン認定書授与 高橋孫一郎 (東京都) 那須チサンカントリークラブ 支配人 村田 悟様より
5. 成績発表/賞品授与 会長 坂本 祐之輔
6. 優勝者挨拶 山本 達夫 (東京都)
7. 閉会の辞 理事 山崎 一正

前夜祭参加者 53 名、コンペ参加者数 76 名、新ペリア方式採用 パーティー等も含めた総参加者81 名

参加県 岩手県1、宮城県7、福島県18、栃木県3、埼玉県13、千葉県7、東京都13、神奈川県19

順位	個人戦 男子の部					個人戦 女子の部					団体戦	
	氏名	県名	グロス	ハンデ	ネット	氏名	県名	グロス	ハンデ	ネット	県名	ネット計
1 位	山本 達夫	東京都	68	-1.2	69.2	田中 恵美	埼玉県	89	14.4	74.6	埼玉県	751.0
2 位	坂本祐之輔	埼玉県	82	10.8	71.2	金子 満江	埼玉県	95	19.2	75.8	福島県	757.4
3 位	大鷹丸正人	神奈川県	86	13.2	72.8	浅野 恭子	福島県	98	18.0	80.0	神奈川県	757.8

ベストグロス/ホールインワン賞				シニア賞(75歳以上)					
部	氏名	県名	グロス	順位	氏名	県名	グロス	ハンデ	ネット
男子	山本 達夫	東京都	68	1 位	野村 吾郎	神奈川県	92	19.2	72.8
女子	田中 恵美	埼玉県	89	2 位	山崎 一正	東京都	93	18.0	75.0
ホールインワン	高橋孫一郎	東京都	7 番ホール	3 位	馬場 和男	東京都	94	18.0	76.0

協賛会社 那須チサンカントリークラブ、ハンターマウンテン塩原、スキージャーナル、

(敬称略) ブリジストンタイヤセールズ関東、東京シスター 津田、ボーヤ、日弘、コトウ

日本スキー指導者協会 会長 坂本祐之輔

千葉県スキー連盟 会長 渡辺 忍

(公財)神奈川県スキー連盟 顧問 片岡 春夫

岩手県スキー指導員会 会長 吉田 勇夫、

日本スキー指導者協会 監事 榎本 建司

栃木県スキー連盟 埼玉県スキー連盟 会長 坂本祐之輔

山形県スキー連盟 常務理事 鈴木勘重

東京都スキー指導員会 名誉会長 阿部 雄三

宮城県スキー指導員会 会長 半沢 進

新年度最初の行事。8日の前夜祭の夕食を兼ねた懇親会には、坂本会長の参加も戴き、カラオケを競い合い、福島県を除く7都県の会員の交流も深まった楽しいものとなりました。特にロッジのロビーに各県の人達が自然と集まった2次会では、大いに盛り上がり、宿泊付開催は各県の懇親に非常に良かったとの事でした。

翌9日は日本晴れで、7時20分開会式、7時32分アウト10 組/イン11 組で同時スタート。各組順調に全員ホールアウトしました。なお東京の高橋孫一郎さんはホールインワンを達成しました。

表彰式並びにパーティーでは、上記各社より協賛支援を賜り全員に賞品を授与する事が出来ました。協賛各社にお礼を申し上げます。16時15分には表彰式も終わり、遠路岩手、宮城をはじめ各地に向け帰路に着きました。皆さんお疲れさまでした。

参加の皆様からは、「懇親会、ロッジの2 次会でも懇親を深められたが、ゴルフの組分けについても各県混合にすれば、もっと楽しかった」との声を戴きました。ゴルフの組分けについては各県で指定される方も多く、無指定の方同士の組分け等がうまく出来るか次回の検討課題とします。



(財)全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会規約

第1章 総 則

- (名 称)
第 1 条 この会は、(財)全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会
(英文名 SKI INSTRUCTOR OF JAPAN、略称 S . I . J .) という。
(事 務 所)
第 2 条 この会の事務所は東京都に置く。

第2章 目的および事業

- (目 的)
第 3 条 この会は、スキー指導者相互の情報交換をはかることにより、スキー界の活性化に寄与し、あわせてスキー指導者の資質の向上と社会的貢献をはかることを目的とする。
(事 業)
第 4 条 この会は、前条の目的を達成するため次ぎの事業を行う。
(1) スキー指導者相互の情報交換と連携。
(2) (財)全日本スキー連盟への協力。
(3) 機関紙の発刊。
(4) その他この会の目的達成に必要な事業。

第3章 会 員

- (会 員)
第 5 条 この会の会員は、S . A . J . 加盟団体及びスキー指導者により構成する各都道府県の団体を会員とする。
ただし、団体が会員でない場合は個人を会員とすることができる。
(賛 助 会 員)
第 6 条 この会の目的に賛同しその事業に協力する個人または団体を賛助会員とすることができる。
(会員の義務)
第 7 条 会員は、この会の行う事業に積極的に協力し、または行事に参加するものとする。
2 . 会員は別に定められた会費を納入しなければならない。
(退 会)
第 8 条 会員が退会するときは、その理由を付し退会届を会長に提出しなければならない。

第4章 役 員

- 第 9 条 この会に次ぎの役員をおく。
会長 1 名、副会長若干名、理事若干名、特別理事若干名
監事 3 名以内
(役員の選任)
第 10 条 前条の役員は、総会で選任する。
2 . 会長の選出は別に定める。
3 . 副会長は全国 7 ブロックより各 1 名を推挙する。
4 . 理事は全国 7 ブロックより各 1 名を推挙する。
5 . 特別理事は S . A . J . 教育本部理事または、それ相応の者を理事会で推挙する。
6 . 監事は、立候補により総会で選出する。
7 . 理事の中より理事長および副理事長を理事会の互選により選出する。
8 . 第 3 項、第 4 項の規程にかかわらず会長推薦の副会長および理事を若干名おくことができる。
(役員の職務)
第 11 条 会長はこの会を代表し、この会の業務を総理する。
2 . 副会長は会長を補佐し、会長が事故ある場合及び必要に応じ職務を代行する。
3 . 理事長は、会長および副会長を補佐し、この会の業務を掌理する。
4 . 理事は、日常の業務を執行する。
(監事の職務)
第 12 条 監事は会議に出席し意見をのべることができる。ただし議決に加わる事はできない。
2 . 監事は、次の各号に定める業務をおこなう。
(1) 財産の状況および整理の監査。
(2) 業務執行状況の監査。
3 . 監査の結果、必要があると認めたときは会長に対し総会の招集を要請することができる。
(役員の任期)
第 13 条 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
2 . 役員はその任期満了後でも、後任者が選任されるまでは、その職務を遂行する。
3 . 補充または増員により選出された役員の任期は、現任者の残存期間とする。
(役員の解任)
第 14 条 役員が次ぎの各号に該当したときは総会の議決を経て解任することができる。
(1) 心身の故障のため職務執行にたえられないと認められたとき。
(2) 職務上の義務違反、および役員にふさわしくない行為があったと認められたとき。

- (役員の報酬)
- 第15条 役員は、原則として無報酬とする。
ただし、その職務のため必要な費用について支給することができる。
- (名誉役員)
- 第16条 この会に、名誉会長、名誉顧問、特別顧問、顧問、参与、会友をおくことができる。
2. 名誉会長はこの会の会長であった者を総会にはかり会長が委嘱する。
3. 名誉顧問はこの会の名誉会長であった者、および同等の功労のあった者を総会にはかり会長が委嘱する。
4. 特別顧問は、必要に応じ総会にはかり会長が委嘱する。
5. 顧問及び参与は、この会の発展に特に功労のあった者を総会にはかり会長が委嘱する。
6. 特別顧問、顧問は、特定事項について会長の諮問に応ずる。
7. 参与は、特定事項について理事会の諮問に応ずる。
- (事務局)
- 第17条 この会の事務処理を行うために中央事務局を置く。
2. 中央事務局の構成は次ぎのとおりとする。
局長1名、次長2名以内、局員若干名。
3. 局長は会長が任命し、理事とする。
4. 次長及び局員は会長が任命する。
5. 局員は有給とすることができる。ただし、その報酬は理事会の議決を得て会長が定める。

第5章 会 計

- (会計年度)
- 第18条 この会の会計年度は毎年6月1日より5月31日までとする。
- (経費)
- 第19条 この会の運営に要する費用は次の各号を以てあてる。
(1) 年会費
(2) 事業収入
(3) 協賛金
(4) 補助金
(5) その他の収入
- 第20条 年会費は原則として都道府県会員の規模割りによるが実情によりブロック単位に算定し納入することができる。
なお、その算定方法は、個人会員とあわせ別に定める。

第6章 会 議

- (会議の種類)
- 第21条 この会の会議は、総会、理事会、その他各種委員会とする。
- (総会)
- 第22条 総会は、この会の最高の議決機関とする。
- (総会の構成)
- 第23条 総会は、各都道府県からあらかじめ選出された代表委員、および役員で構成する。
2. 名誉役員に出席を要請し意見を求めることができる。
- (総会の招集)
- 第24条 総会は、毎年1回会計年度の終了後3ヶ月以内に会長が招集する。
ただし、代表委員の2分の1以上から会議の目的事項を示し総会開催の請求があったときは60日以内に総会を招集しなければならない。
- (総会の成立)
- 第25条 総会は、代表委員現在数の2分の1以上の出席がなければ会議を開き議決することができない。ただし、委任状の提出があった場合は、出席したものと見なす。
- (総会の議決)
- 第26条 総会の議決は、特別に定めた事項を除き出席代表委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決するところによる。
- (総会の議長)
- 第27条 総会の議長は、会長もしくは会長の指名するものとする。
- (総会の審議事項)
- 第28条 総会は次の事項を審議、議決する。
(1) 事業計画および収支予算に関する事項
(2) 事業報告および収支決算報告に関する事項
(3) 役員の選出、承認および解任
(4) 規約、規程の改廃
(5) 会員の加盟の承認および除名
(6) 会員からの提出議案
(7) 役員および会員の表彰
(8) その他必要と認める事項
- (理事会)
- 第29条 理事会は、会長、副会長、理事、特別理事、監事をもって構成し会長が必要に応じ招集する。
2. 理事会の議長は、会長もしくは会長の指名するものとする。
3. 会長は、必要に応じ名誉役員に出席を要請し意見を求めることができる。
4. 理事会の成立及び議決は、総会の成立及び議決に準ずる。
- (理事会の業務)
- 第30条 理事会は次の業務を処理する。
(1) 事業計画および予算の立案ならびに執行
(2) 事業報告および決算の処理
(3) 役員等の選考に関する事項

- (4) 規約、規程の立案
- (5) 会員拡大に関する事項
- (6) 会員からの提出議案の処理
- (7) 役員および会員の表彰者の推薦
- (8) その他、必要事項

(各種委員会)

第31条 この会に、事業遂行上必要と認める場合、各種委員会をおくことができる。

2. 各種委員会の設置および構成する委員の選出は理事会の議決による。

3. 委員は会長が委嘱する。

(議事録)

第32条 総会および理事会の議事については次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 開会の日時および場所

(2) 会議に出席した構成員の氏名

(3) 委任状を提出した者の氏名

(4) 議決事項

(5) 議事の経過の要旨および発言者の発言要旨

2. 議事録には、議長およびあらかじめ選出された議事録署名人が署名しなければならない。

3. 議事録は作成後すみやかに会議構成員に開示することとする。

第7章 付 則

(細 則)

第33条 この規約の施行上、必要な事項は別に細則に定めることができる。

(規約の改廃)

第34条 この規約の改廃は、総会において出席代表委員の3分の2以上の同意によらなければならない。

第35条 この規約は昭和58年10月30日より施行する。

昭和61年12月3日改正

昭和62年08月23日改正

昭和63年08月27日改正

平成06年07月17日改正

平成07年07月12日改正

平成09年07月12日改正

平成10年07月19日改正

平成11年07月18日改正

平成13年08月05日改正

平成15年08月02日改正

平成16年07月31日改正

平成21年07月26日改正

平成22年08月08日改正(全面)

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会 運営細則

(会長の選出)

第1条 会長は、各ブロック選出理事による会議における推挙にもとづき、総会において選出する。

(総会への出席)

第2条 賛助会員、名誉会員、個人会員および都道府県会員に属する個人は総会に出席することができる。ただし、議決には加わらない。

(年会費)

第3条 会員の年会費は原則として別表に定めた金額とする。

(慶 弔)

第4条 役員等の慶弔については必要に応じその都度会長が決め執行する

付 則

第1条 この運営細則の改廃は理事会において議決し総会の承認を得なければならない。

第2条 この運営細則は、平成22年8月8日より施行する。

(財)全日本スキー連盟

日本スキー指導者協会

役員名簿

2012.10.1一部変更

2011.6～2013.5

名誉会長	菅 秀文	東京都	会長	坂本祐之輔	
特別顧問	丸山 庄司	長野県	副会長	坂井 和夫	北海道
顧問	坂井 敏夫	北海道	"	半沢 進	東北(宮城県)
"	毛利 修三	北海道	"	渡辺 忍	南関東(千葉県)
"	岸 英三	山形県	"	山崎 一正	南関東(東京都)
"	目崎 武美	群馬県			
"	阿部 雄三	東京都	特別理事	増田 千春	S.A.J.理事
"	福岡 孝純	東京都	理事	藤島 勝雄	北海道(北海道)
"	杉崎壽三男	東京都	"	吉田 勇夫	東北(岩手県)
"	林 権一	東京都	"	鈴木 勘重	山形県
"	片岡 春夫	神奈川県	"	阿部 隆郎	福島県
"	大澤 佑吉	神奈川県	"	古賀 澄夫	茨城県
参 与	宮本忠五郎	宮城県	"	石塚 光男	北関東(栃木県)
"	長澤 光雄	千葉県	"	福田 真人	埼玉県
"	浦辻 直	東京都	"	新井 臣一	埼玉県
			"	佐藤 昭蔵	千葉県
顧問弁護士	菅原 哲朗	キースト法律事務所	"	和田 守義	東京都
			"	水島 秀夫	神奈川県 理事長
			監 事	榎本 建司	栃木県
				巻坂 伸治	千葉県
			代表委員	三浦 光男	北海道
			"	金井 久	埼玉県
			"	庄司 高士	千葉県
			"	芳賀 寛	東京都
			"	榎本 勝雄	神奈川県
			"	小林 賢	山梨県
			"	宮津 久男	長野県

中央事務局

局長	藤木 昇	神奈川県	規約17条3項による理事
次 長	高橋イキ工	東京都	
"	水島三千夫	神奈川県	
局 員	関根 紀光	埼玉県	
	滝沢 誠	東京都	
	井駒 利一	神奈川県	

事務局だより

S.I.J.事務局は理事会、総会の決議のもと、各県の親睦をはかる事業の企画実施等の運営機能、各県のへの連絡と会費等の会計まとめの総務機能、会報発行とホームページの広報機能が主業務となっています。

会の運営機能として、会長の意向を伺いながら、事業企画立案、理事会や総会までの各種準備、総会決議事項の実行など、理事長の指示のもと、事務局の理事と東京近県の副会長、理事、代表委員を交え事務局会議を適宜開催し、会全体の運営のお手伝いをしております。各県の親睦に寄与する事業を会費の中で効率的に実施するために奮闘しております。

総務機能として各県役員または指導員会宛の通知、会費納入のお願い、理事会と総会資料の作成と会議の手配、議事録の作成、スポンサー募集とお礼状の発送、慶弔に関する連絡と手配等を行っております。特に会費の納入状況が芳しくないため、経費的にも運営が苦しい状況です。

広報としては会報の企画編集、寄稿依頼と手作り発行、執行内容のホームページへの掲載維持等です。ホームページは会報と共に全国のスキー指導者の連携と一体感をかもしだすために重要な要件と考えています。是非皆様の投稿やニュース寄稿、ご意見の提供をお願い致します。

事務局員は皆様と出会い、行事や会報によって会員の方々との連携を実感しながら、また楽しみながら仕事を進めております。更に喜びの多いS.I.J.として行きたくよろしくお願い申し上げます。

現在の事務局員の担当は下記のようになっています。

事務局長 藤木 昇 理事(神奈川)、事務局次長 総務担当 高橋イキエ(東京)

事務局次長 広報担当 水島三千夫(神奈川)

事務局員 関根 紀光(埼玉) 滝沢 誠(東京)、井駒 利一(神奈川)

S.I.J.のホームページ <http://sij.arts-k.com/> へ是非お越し下さい。

事務局日誌より

- H23 6/29 訃報 東京都名誉役員 荒井哲夫顧問逝去 享年 86 歳
 7/ 9 平成24年度第1回理事会開催(スクワール麹町)
 7/ 9 平成24年度総会開催(スクワール麹町)
 7/14 理事長候補立候補依頼を各役員に郵送
 8/ 2 水島秀夫理事の理事長就任のお知らせ郵送
 10/ 1 会報27号発刊 16000 部
 10/22 メーリングリリスト、理事長・事務局でテスト的に運用開始
 11/18 訃報 栃木県スキー連盟会長・SIJ 副会長綱川千夫先生逝去 享年 76 歳
 H24 5/26 平成24年度第2回理事会開催(スクワール麹町)
 6/12 理事の交代、新：福田真人理事。旧：小笠原健一理事勇退。
 7/21 平成 25 年度第 1 回理事会開催(スクワール麹町)
 7/21 平成 25 年度総会開催(スクワール麹町)
 9/10 山形県名誉役員 堀恒也顧問逝去 享年 91 歳



事務局会議開催

- H24 6/18 平成25年度第 1 回拡大事務局会議(ロータス)
 出席者 水島理事長、和田理事、庄司代表委員、藤木局長、高橋次長、井駒局員
 7/26 平成25年度第 2 回拡大事務局会議(総評会館・(連合会館))
 出席者 水島理事長、山崎副会長、和田理事、庄司代表委員、芳賀代表委員、高橋次長、井駒局員

会費納入のお願い

日本スキー指導者協会の運営は、全国各県の指導員会組織(SAJの各県連組織を含む)からの会費が基本となっています。皆様から頂く約 80 万円の年会費は全国の指導員への情報提供とコミュニケーションの場であるこの会報の発行とホームページの維持に殆んどが費やされています。

また滞納気味の県もあり当会の運営は財政的に非常に苦しい状況です。このような事情から誠に勝手ながら、本年度の会報発行に合わせ、会費未納の各県の指導員会事務所に請求書をお届けさせていただきますので、何とぞ年内納入にご協力頂きたく節にお願い申し上げます。

尚、既にご納付されました各位には心よりお礼申し上げます。

事務局長 藤木 昇

2013年度 関係団体一覧

北海道	0144-72-4060	藤島勝雄様方	大阪府	06-6975-2064	大阪府スキー連盟内
青森県	0172-48-3490	財団法人青森県スキー連盟内	兵庫県	078-802-0558	兵庫県スキー連盟内
岩手県	019-656-6655	財団法人岩手県スキー連盟内	奈良県	0743-67-0760	奈良県スキー連盟内
宮城県	022-375-9524	宮城県スキー連盟内	和歌山県	0736-73-3723	和歌山県スキー連盟内
秋田県	018-832-0563	秋田県スキー連盟内	鳥取県	0859-52-2290	鳥取県スキー連盟内
山形県	023-647-5020	山形県スキー連盟内	島根県	090-8998-1110	島根県スキー連盟内
福島県	0242-62-4504	福島県スキー連盟内	岡山県	086-801-9090	岡山県スキー連盟内
茨城県	029-221-7737	茨城県スキー連盟内	広島県	082-293-3230	広島県スキー連盟内
栃木県	0286-22-3571	栃木県スキー連盟内	山口県	083-927-9655	山口県スキー連盟内
群馬県	027-231-1966	群馬県スキー連盟内	徳島県	0883-53-0008	徳島県スキー連盟内
埼玉県	048-853-2710	埼玉県スキー連盟内	香川県	087-841-3818	香川県スキー連盟内
千葉県	047-751-2100	千葉県スキー連盟内	愛媛県	0898-24-0676	愛媛県スキー連盟内
東京都	03-3262-2491	一般財団法人東京都スキー連盟内	高知県	088-841-5261	高知県スキー連盟内
神奈川県	045-311-9807	公益財団法人神奈川県スキー連盟内	福岡県	092-262-1550	福岡県スキー連盟内
新潟県	0258-82-1680	財団法人新潟県スキー連盟内	佐賀県	090-5480-9320	佐賀県スキー連盟内
富山県	076-442-3110	富山県スキー連盟内	長崎県	0957-53-4266	長崎県スキー連盟内
石川県	0761-91-3543	石川県スキー連盟内	熊本県	096-324-2595	熊本県スキー連盟内
福井県	0779-66-3411	福井県スキー連盟内	大分県	0974-22-0110	大分県スキー連盟内
山梨県	090-7401-3322	NPO法人山梨県スキー連盟内	宮崎県	0985-23-6937	宮崎県スキー連盟内
長野県	026-264-5888	財団法人長野県スキー連盟内	鹿児島県	099-225-1309	休会中
岐阜県	0577-34-3133	岐阜県スキー連盟内	沖縄県	098-850-9273	沖縄県スキー連盟内
静岡県	054-385-5437	静岡県スキー連盟内			
愛知県	052-757-6277	愛知県スキー連盟内			
三重県	0593-94-6981	三重県スキー連盟内			
滋賀県	077-527-8501	滋賀県スキー連盟内			
京都府	075-692-3487	京都府スキー連盟内			

(社)全日本学生スキー連盟 03-3384-7913
 全国高体連スキー部 0278-56-2310
 (群馬県立尾瀬高等学校内)
 全日本スキー連盟 03-3481-2315

個人会員募集

日本スキー指導者協会に団体が加入していない府県の方は、個人会員として当協会の会員になることが出来ます。
 会員になられた方には、会報の送付や各種行事のご案内などを差し上げます。
 お申し込みは事務局におねがいします。
 年会費は1,000円となっています。
 現在、下記の府県の団体は加盟しておりませんので
 ご希望の方は、個人会員としてお申し込みください。

記

群馬県、新潟県、西日本ブロック(SAJのブロックに同じ)

《編集後記》

SAJは今年10月に創立30年をむかえる。これを転機に、従来の延長線ではなく新たに魅力あるスポーツを次世代に伝え、社会に貢献する団体へ転換することに期待したい。

M
 ** 編集委員 ** 水島 秀夫 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫



INSTRUCTOR

日本 ski 指導者協会会報 (第27号) (非売品) 平成24年10月1日発行
 編集人 編集委員会 発行人 坂本 祐之輔
 印刷所 水戸屋紙工株式会社 発行所 日本 ski 指導者協会中央事務局
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-15-5-419
 TEL & FAX 03-3374-3855 E-mail ikie@nifty.com URL http://sij.arts-k.com/